

令和５年度デジタル田園都市国家構想交付金に係る効果検証

1. 地方創生推進タイプ

【目 的】観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する取組などを支援。

【補助率】二分の一

【要 件】地域再生法第５条第４項第１号イに規定する事業

- ①結婚、出産又は育児についての希望を持つことができる社会環境の整備に資する事業
- ②移住及び定住の促進に資する事業
- ③地域社会を担う人材の育成及び確保に資する事業
- ④観光の振興、農林水産業の振興その他の産業の振興に資する事業
- ⑤①から④までに掲げるもののほか、地方公共団体が地域再生を図るために取り組むことが必要な政策課題の解決に資する事業

	事業名	総事業費（円）	交付金（円）	備考
推進タイプ	生涯活躍のまち・つる２．０インキュベーションコミュニティ構築事業	140,741,208	70,362,431	R3 採択
	都留市探究型学習塾・市民大学×デジタル人材育成を通じた地域課題解決人材育成事業	25,436,358	12,718,178	R4 採択
	合計	166,177,566	83,080,609	

※総事業費

2. 地方創生拠点整備タイプ

【目 的】観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する拠点施設の整備などを支援。【補助率】二分の一

【要 件】1.に掲げる事業と一体となって整備される地方創生の推進に資する施設を整備する事業。

	事業名	総事業費（円）	交付金（円）	備考
拠点整備タイプ	住民相互のまちづくりへの意識醸成事業	31,863,982	15,931,991	R2 採択
	生涯活躍のまち・つる地域交流拠点整備計画（複合型居住プロジェクト）	527,004,370	256,556,834	R2 採択

	公立大学法人都留文科大学新棟（仮称）整備計画	618,813,844	308,991,782	R2 採択
	都留市テニスコート整備計画	14,672,900	7,336,450	R2 採択
	都留市宝の山ふれあいの里ターゲットバードゴルフ場整備計画	5,027,000	2,299,000	R2 採択
	都留市探究型学習塾・市民大学×デジタル人材育成を目的とした都留文科大学多目的教室棟（仮称）整備事業	1,230,002,901	597,557,150	R4 採択
	夏狩・湧水群エリアの地域コミュニティの担い手創出における東桂地域コミュニティセンター施設整備事業	298,015,300	123,035,000	R3 採択
		2,725,400,297	1,311,708,207	

※総事業費

【交付金種別】 地方創生拠点整備タイプ及び地方創生推進タイプ

NO.	交付金対象事業名称	事業目的・概要								
1	住民相互のまちづくりへの意識醸成事業	地域の住民、移住者相互の交流を図り、地域の防犯機能強化のため安全・安心ステーションを設置し、地域防犯指導員による安全・安心のまちづくりのための講習会を開催することにより、まちづくりの機運醸成を図る。またボランティアへの斡旋を図ることと同時に、本市の中心市街地に立地する施設の特色を生かし、観光案内機能も兼ね備え、市外の観光客も気軽に訪れる場の創出を図る。								
総合戦略の位置づけ										
安心・安全のまち「セーフコミュニティ」の推進										
事業開始	事業終期									
令和2年4月	令和3年3月									
実施事業名		総事業費	交付金対象経費	財務内訳		実施内容				
				交付金	一般財源等					
1	安全・安心ステーション（地域安全ステーション）整備事業	30,558,000	30,558,000	15,279,000	15,279,000	設計・監理業務委託、建設工事				
2	安全・安心ステーション（地域安全ステーション）整備に伴う備品及び消耗品購入等	1,305,982	1,305,982	652,991	652,991	備品、消耗品、Wi-Fi整備				
3										
4										
5										
合計（円）		31,863,982	31,863,982	15,931,991	15,931,991					
重要事業評価指標（KPI）		単位	事業開始前	KPI	R2(増加分)	R3(増加分)	R4(増加分)	R5(増加分)	R6(増加分)	増加分累計
1	本施設の利用者数	人	0	目標値	0.00	1,500.00	250.00	300.00	400.00	2,450.00
				実績値	0.00	138.00	74.00	315.00		527.00
2	施設でのまちづくり講習会参加者数	人	0	目標値	0.00	100.00	10.00	20.00	30.00	160.00
				実績値	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
3	本事業を通じたボランティア	人	0	目標値	0.00	3.00	3.00	4.00	4.00	14.00
				実績値	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
4				目標値						
				実績値						
事業効果	地方創生に効果があった	KPIは芳しくなかったものの、本施設は、青色防犯パトロールをや防犯講座を行う地域防犯推進員の活動拠点となっており、市民や学校からも「地域を回ってくれるから安心」との声をいただいている。年々「青パト」の認知度が高まっており、市役所を通さず、推進員に直接相談が行くケースも多い。								
今後の方針	事業の継続	新型コロナウイルス感染症などの感染拡大により、施設の利用者が想定より少なかったため、地域の身近な施設として気軽に利用していただけるよう利用促進を呼びかけていく。 現在は、地域に出ていって防犯講座を積極的に行っているため、本施設を会場とした企画も考えていく必要がある。								
評価	利用者は増加傾向にあり、防犯講座やパトロールの拠点として認知されてきている。防犯講座や各種イベントでの広報活動により安心・安全への関心を持つ住民の増加に寄与している。まちづくり講習会やボランティア人材の獲得には効果が現れていないため、本施設での講習会の開催や地域のボランティア人材の育成での活用に期待したい。									

【交付金種別】 地方創生拠点整備タイプ及び地方創生推進タイプ

NO.		交付金対象事業名称	事業目的・概要								
2	生涯活躍のまち・つる地域交流拠点整備計画（複合型居住プロジェクト）		生涯活躍のまち・つる地域交流拠点整備は、都留文科大学に隣接する遊休地（約10,000㎡）に整備し、拠点内にはコワーキングスペースや職業紹介所機能（仕事面）、子育て関連施設（若者世代）、移住のワンストップ窓口（移住相談）の機能を有するとともに、多くの方が気軽に立ち寄れるようカフェレストランや物販コーナーなども設け、生活全般を通じた多世代の交流を推進する。								
	総合戦略の位置づけ		また、このエリアには都留文科大学の留学生用学生寮の計画もあるため、交流拠点での交流を通じて各国の文化や習慣など、国際交流・多文化交流のソフト事業を展開することも可能となる。このように、学生、高齢者、子どもを含めた子育て世代などが集まることで、世代や国籍をも超えた「ごちゃまぜ」コミュニティを形成し、全員が生涯にわたって活躍できる受け皿と地域共生型による「全世代・多文化共生の場」の創出を目的とする。								
	生涯活躍のまち・つる事業の推進										
事業開始		事業終期									
令和2年4月		令和5年3月									
実施事業名			総事業費	交付金対象経費	財務内訳		実施内容				
					交付金	一般財源等					
1	R2生涯活躍のまち・つる地域交流拠点整備計画（複合型居住プロジェクト）		48,787,000	48,787,000	24,393,500	24,393,500	設計委託料、用地造成				
2	R3生涯活躍のまち・つる地域交流拠点整備計画（複合型居住プロジェクト）		177,114,865	177,114,865	88,557,432	88,557,433	施設建設費、用地造成				
3	R4生涯活躍のまち・つる地域交流拠点整備計画（複合型居住プロジェクト）		227,427,200	227,427,200	113,713,600	113,713,600	建築等工事費（電気設備費、機械設備費含む）、現場監理費				
4	R4駐車場及び外構整備		61,156,700	61,156,700	23,633,000	37,523,700	駐車場及び外構整備				
5	R4Wi-Fi整備、施設内装、備品等の整備		12,518,605	12,518,605	6,259,302	6,259,303	備品購入費（ソフト分）				
合計（円）			527,004,370	527,004,370	256,556,834	270,447,536					
重要事業評価指標（KPI）			単位	事業開始前	KPI	R2(増加分)	R3(増加分)	R4(増加分)	R5(増加分)	R6(増加分)	増加分累計
1	本事業を通じた移住者数	人	0	目標値	0.00	0.00	0.00	30.00	40.00	70.00	
				実績値	0.00	0.00	0.00	4.00	4.00		
2	本施設のコワーキングスペースの利用者数	人	0	目標値	0.00	0.00	0.00	525.00	840.00	1,365.00	
				実績値	0.00	0.00	0.00	1,353.00	1,353.00		
3	本事業の職業紹介を通した就職者数	人	0	目標値	0.00	0.00	0.00	5.00	5.00	10.00	
				実績値	0.00	0.00	0.00	5.00	5.00		
4	都留文科大学の学生の卒業後の都留市への定着率	%	0	目標値	0.00	0.00	0.00	0.70	1.00	1.70	
				実績値	0.00	0.00	0.00	-0.60	-0.60		
事業効果		地方創生に非常に効果的であった	KPIに未達成の部分はありますが、令和5年度の本施設の利用者は10,000人を超え、新たな交流の場・集いの場として多くの住民に認知される施設となった。移住者数や就職者数も一定程度の効果はあり、今後、本施設周辺の整備が進めばさらに効果は高まると想定される。								
今後の方針		事業の継続	今後は移住者の確保を行うとともに、移住者等に向けた人材育成としごと確保のための取り組みを進める。また、今後の都留文科大学施設及び周辺施設の整備に伴い、学生に本施設を利用してもらい、テレワークやコワーキングスペースを利用した働き方の周知を含めた定着率向上の活動を行っていく。								
評価		移住者数や学生の定着率は目標値を満たしていないが、施設としての利用者数や認知度は開設初年度としては想定以上であり、市民や市外の方の活躍の場として活用されている。また、指定管理者制度で指定された民間事業者による施設運営が移住・定住促進、雇用創出、各種イベントの活性化に繋がっている。									

【交付金種別】 地方創生拠点整備タイプ

NO.		交付金対象事業名称	事業目的・概要								
3		公立大学法人都留文科大学新棟（仮称）整備計画	【概要】都留市より都留文科大学（公共的団体）へ出資する旧山梨県南都留合同庁舎の建物を全面的に模様替えし、大学の新棟（仮称）を整備する。 【目的】カフェコモンズやラーニングコモンズとして設置されたスペースの利用による学修環境の向上、共用空間を地域住民にも開放することにより、施設の充足をはかることで、大学間競争での競争力を高め、入学志願者数を増加させることを目的とする。								
総戦略の位置づけ											
生涯活躍のまち・つる事業の推進 「教育首都つる」のさらなる発展											
事業開始		事業終期									
令和3年4月		令和4年3月									
実施事業名			総事業費	交付金対象 経費	財務内訳		実施内容				
					交付金	一般財源等					
1	公立大学法人都留文科大学新棟（仮称）整備計画		610,659,060	610,659,060	304,914,390	305,744,670	公立大学法人都留文科大学新棟（仮称）の整備				
2	備品及び消耗品購入等		8,154,784	8,154,784	4,077,392	4,077,392	什器類等購入、ＩＣＴ機器等購入				
3											
4											
5											
合計（円）			618,813,844	618,813,844	308,991,782	309,822,062					
重要事業評価指標（KPI）			単位	事業開始前	KPI	R3(増加分)	R4(増加分)	R5(増加分)	R6(増加分)	R7(増加分)	増加分累計
1	都留文科大学入学志願者数	人	4,271	目標値	10.00	20.00	50.00	50.00	50.00	180.00	
				実績値	-546.00	-432.00	-868.00			-1,846.00	
2	本施設で開催したビジネスコンテストの都留文科大学学生による提案数	件	0	目標値	0.00	0.00	5.00	2.00	3.00	10.00	
				実績値	0.00	0.00	4.00			4.00	
3	本施設の利用者数	人	0	目標値	0.00	0.00	16,000.00	2,000.00	2,000.00	20,000.00	
				実績値	0.00	0.00	17,602.00			17,602.00	
4				目標値							
				実績値							
事業効果		地方創生に効果があった	大学の入学志願者数は目標値から悪化してしまいましたが、本施設を設置したことでビジネスプランの提案や大学施設の市民利用による市民と学生の交流が図られたことにより、大学を核とする地方創生の取組には一定程度効果があったといえる。								
今後の方針		事業の継続	少子化による大学進学者数自体が減少傾向にあるため。施設の活用を促し、大学の魅力を向上させ、入学志願者数の増加を図る。								
評価		入学志願者数は伸び悩んだものの、ビジネスコンテストへの学生提案数は目標値近くの提案を受けることができています。施設の利用者も学生以外の一般利用も多くあり、指標を達成できています。今後は本施設を起点として、大学の魅力を発信し、入学志望者数の増加を図りたい。									

令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金

【交付金種別】 地方創生拠点整備タイプ

NO.	交付金対象事業名称	事業概要・目的								
4	都留市テニスコート整備計画	<p>【概要】テニスコート利用者が安全・安心にスポーツができ、情報交換など相互の交流を図るための休憩・交流スペースを整備する。また、施設にテニスコートの市外利用者に対する観光案内や移住定住、ふるさと納税などの情報を提供し、今後も本市との関係を築く体制を整備する。</p> <p>【目的】本施設を整備することにより、テニスコート利用者が、一年を通じて安全・安心にスポーツができ、情報交換など相互の交流を図る空間が整備され好循環が生まれ課題解決に寄与する。また、本市の目指すべき将来像であるだれもがスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指すとともに、利用促進を図ることにより収益を確保し、ポストコロナに向けた経済の好循環を図ることを目的とする。</p>								
総合戦略の位置づけ										
「教育首都つる」のさらなる発展										
事業開始		事業終期								
令和3年4月		令和4年2月								
実施事業名		総事業費	交付金対象経費	財務内訳		実施内容				
				交付金	一般財源等					
1	都留市テニスコート整備計画	14,672,900	14,672,900	7,336,450	7,336,450	テニスコート休憩施設の整備				
2										
3										
4										
5										
合計(円)		14,672,900	14,672,900	7,336,450	7,336,450					
重要事業評価指標(KPI)		単位	事業開始前	KPI	R3(増加分)	R4(増加分)	R5(増加分)	R6(増加分)	R7(増加分)	増加分累計
1	テニスコート年間利用者数	人	9,558	目標値	300.00	400.00	500.00	600.00	700.00	2,500.00
				実績値	-1,101.00	2,307.00	-43.00			1,163.00
2	テニスコート年間利用料	円	538,930	目標値	15,000.00	20,000.00	25,000.00	30,000.00	35,000.00	125,000.00
				実績値	-89,647.00	8,057.00	73,900.00			-7,690.00
3			0	目標値						
				実績値						
4				目標値						
				実績値						
事業効果	地方創生に効果があった	休憩施設の整備により市内利用者が増加し、利用者の安全・安心、生きがいの創出が図られている。利用者数はコロナウイルスの影響から回復しつつあるが、利用者に対する本市のPRができていない状況である。								
今後の方針	事業の継続	日中利用者以上に夜間利用、市外利用者が増えているので、近隣市町村や市外への広報等を拡大する。夜間利用をしている層を調査しターゲットを絞った宣伝をする。								
評価	利用者数はコロナ以前の水準に戻りつつあり、安全・安心なスポーツができる環境が整備され生涯スポーツ社会の実現に寄与している。夜間、市外利用者が増加しているとのことなので、ターゲットを意識した本市のPRが可能となるような仕掛けづくりができることに期待する。									

令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金

【交付金種別】 地方創生拠点整備タイプ

NO.	交付金対象事業名称	事業概要・目的								
5	都留市宝の山ふれあいの里ターゲットバードゴルフ場整備計画	<p>【概要】ターゲットバードゴルフ場の利用者が安全・安心にスポーツができ、生きがいの創出を図り、情報交換など相互の交流を図るための休憩スペースを整備する。</p> <p>また、施設にターゲットバードゴルフ場の市外利用者に対する観光案内や移住定住、ふるさと納税などの情報を提供し、今後も本市との関係を築く体制を整備する。</p> <p>【目的】ターゲットバードゴルフ場利用者に対し、安全・安心にスポーツができ、情報交換など相互の交流を図る空間を整備し、生きがいを創出するとともに、利用促進を図ることにより収益を確保し、ポストコロナに向けた経済の好循環を図ることを目的とする。</p>								
総合戦略の位置づけ										
「教育首都つる」のさらなる発展										
事業開始		事業終期								
令和3年4月		令和4年3月								
実施事業名		総事業費	交付金対象 経費	財務内訳		実施内容				
				交付金	一般財源等					
1	都留市宝の山ふれあいの里ターゲットバードゴルフ場整備計画	5,027,000	5,027,000	2,299,000	2,728,000	ターゲットバードゴルフ場休憩施設の整備				
2										
3										
4										
5										
合計（円）		5,027,000	5,027,000	2,299,000	2,728,000					
重要事業評価指標（KPI）		単位	事業開始前	KPI	R3(増加分)	R4(増加分)	R5(増加分)	R6(増加分)	R7(増加分)	増加分累計
1	ターゲットバードゴルフ場年間利用者数	人	4,061	目標値	100.00	100.00	160.00	190.00	220.00	770.00
				実績値	-1,676.00	2,175.00	126.00			625.00
2	ターゲットバードゴルフ場利用料	円	403,310	目標値	10,000.00	10,000.00	16,000.00	19,000.00	22,000.00	77,000.00
				実績値	-138,480.00	-64,380.00	57,470.00			-145,390.00
3				目標値						0.00
				実績値						0.00
4				目標値						
				実績値						
事業効果	地方創生に効果があった	休憩施設の整備により市内利用者が増加し、利用者の安全・安心、生きがいの創出が図られている。コロナウイルスの影響により減少していた市外利用者数も回復してきている。								
今後の方針	事業の継続	収入の確保のためターゲットバードゴルフクラブ会員を増加させ、ターゲットバードゴルフ場の利用率を高める。 ターゲットバードゴルフ協会との連携を深め、市担当者が利用者にワンストップで本市の情報を提供できる体制を構築する。								
評価	利用者・利用料の減少は回復してきておりコロナ禍以前よりも利用者、利用料ともに増加傾向である。利用者が安全・安心にスポーツができる環境が整備されたことで、問い合わせや利用者が増加している。ターゲットバードゴルフ協会との連携を深めて、本市の魅力を利用者に伝える体制の構築に期待する。									

令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金

【交付金種別】 地方創生拠点整備タイプ及び地方創生推進タイプ

NO.	交付金対象事業名称	事業目的・概要								
3	都留市探究型学習塾・市民大学×デジタル人材育成を目的とした都留文科大学多目的教室棟（仮称）整備事業	「都留市探究型学習塾・市民大学×デジタル人材育成を通じた地域課題解決人材育成事業」の活用及び大学生と市民の「学び」を通じた交流の促進。								
総合戦略の位置づけ		本施設の多目的教室や演習室は、令和4年度より地方創生推進交付金を活用して行う「都留市探究型学習塾・市民大学×デジタル人材育成を通じた地域課題解決人材育成事業」における各事業プログラムを実施する際に活用する。								
生涯活躍のまち・つる事業の推進 「教育首都つる」のさらなる発展		さらに、「探究型学習塾」や「市民大学」での運用の他、市民と教授や学生が「学び」を通して交流を図るコラーニングスペースとしての運用を行う。各学校・各学部の専門的なノウハウや知見、学生目線のアイデアを市民に提供する「域学連携」の取組を図る。なお、「探究型学習塾」「市民大学」のプログラム実施やコラーニングスペースにおいては、市民が大学生と日常的に交流を図れる場所とする。併せて空き状況によっては大学講義の教室としても併用する。								
事業開始		事業終期								
令和4年4月		令和5年3月								
実施事業名		総事業費	交付金対象 経費	財務内訳		実施内容				
				交付金	一般財源等					
1	都留文科大学多目的教室棟（仮称）	882,639,500	882,639,500	427,155,000	455,484,500	建築物本体工事、建築物と不可分な設備工事				
2	駐車場等外構工事及びオンライン環境の整備	272,367,100	272,367,100	132,904,000	139,463,100	駐車場等外構工事、構内情報通信網設備整備工事				
3	「探究型学習塾」・「市民大学」におけるVRを活用したコンテンツやプログラムの実践に伴う機器整備事業	74,996,301	74,996,301	37,498,150	37,498,151	什器類（全多目的教室分）、VR導入経費、VR編集に係るソフトウェア費、事務運営に係る事務費、VR導入に関わる製作費				
4										
5										
合計（円）		1,230,002,901	1,230,002,901	597,557,150	632,445,751					
重要事業評価指標（KPI）		単位	事業開始前	KPI	R4(増加分)	R5(増加分)	R6(増加分)	R7(増加分)	R8(増加分)	増加分累計
1	都留文科大学卒業生の市内定着率	%	0.9	目標値	0.00	0.30	0.50	0.70	1.20	2.70
				実績値	0.00	-0.50				-0.50
2	事業を通して創出した雇用数	人	0	目標値	0.00	3.00	5.00	7.00	9.00	24.00
				実績値	0.00	4.00				4.00
3	施設利用に伴う人材育成数	人	0	目標値	0.00	190.00	410.00	630.00	900.00	2,130.00
				実績値	0.00	195.00				195.00
4				目標値						
				実績値						
事業効果	地方創生に効果があった	施設が開所して初年度ということもあり、大学卒業生の地元定着には効果が見られなかったものの、大学生をはじめとする雇用の創出やデジタル人材の育成には一定の成果がみられたことから、大学を核とする地方創生の取組には一定程度効果があったといえる。								
今後の方針	事業の継続	探究型学習塾の運営法人等に大学生の雇用が生まれている流れを、卒業生の市内定着につなげていく。								
評価	大学生の市内定着率に課題は見られるものの、探究型学習等で本施設を利用したデジタル人材の育成に相当程度活用できている。今後は探究型学習や他の事業から大学生の市内定着につながるような活動が期待される。									

令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金

【交付金種別】 地方創生拠点整備タイプ

NO.		交付金対象事業名称	事業目的・概要								
7		夏狩・湧水群エリアの地域コミュニティの担い手創出における東桂地域コミュニティセンター施設整備事業	自治会による会合や住民による協働のまちづくりイベントの打合せ、大学生や教授による研修やワークショップに活用する地域交流スペース及び会議室、住民が行う健康マージャンや近隣市内小中学校の子供たちと交流を図る多目的教室及び和室、都留文科大学生の団体と共同で活用する調理室、エリアを訪問した観光客・関係人口向けの案内所を整備する。								
総戦略の位置づけ											
生涯活躍のまち・つる事業の推進 心豊かに暮らせるきらめきのまちづくり											
事業開始		事業終期									
令和4年4月		令和5年3月									
実施事業名			総事業費	交付金対象 経費	財務内訳		実施内容				
					交付金	一般財源等					
1	東桂地域コミュニティセンター		244,281,000	244,281,000	98,832,500	145,448,500	建築工事費				
2	既存施設除却・解体及び駐車場等外構工事・Wi-Fi設置工事		53,734,300	53,734,300	24,202,500	29,531,800	既存施設除却・解体及び駐車場等外構工事、Wi-Fi設置工事				
3											
4											
5											
合計（円）			298,015,300	298,015,300	123,035,000	174,980,300					
重要事業評価指標（KPI）			単位	事業開始前	KPI	R4(増加分)	R5(増加分)	R6(増加分)	R7(増加分)	R8(増加分)	増加分累計
1	住民活動に継続的に参加した大学生数		人	0	目標値 実績値	0.00 0.00	5.00 5.00	10.00	15.00	17.00	47.00 5.00
2	本エリアの要介護認定率の減少		%	15.7	目標値 実績値	0.00 0.00	-0.50 -0.95	-0.70	-1.10	-1.50	-3.80 -0.95
3	エリアコンシェルジュで創出した関係人口数		人	0	目標値 実績値	0.00 0.00	50.00 73.00	70.00	100.00	120.00	340.00 73.00
4					目標値 実績値						
事業効果		地方創生に相当程度効果があった	学生のゼミ活動の拠点として利用されているほか、健康体操や健康マージャンなどの住民活動による活発な交流が起こっている。都留文科大学の学生や地域住民、小中学生によるコミュニティ活動が行われ、自治会活動の次世代の担い手が醸成され始めている。								
今後の方針		事業の継続	KPIはすべて達成されているが、今後も利用者の市民、学生のニーズを把握して利用者の獲得につなげていく。また、さらなる地域の魅力発信につながる活動を実施する。								
評価		開所初年度にして、市民活動の拠点、交流の場として非常に活発に利用されている。事業収入の面で、利用者の内訳が利用料の発生しない市内住民が多数のため、地域住民との交流が図れるような有料団体への貸出スキームの作成も検討された。									

【交付金種別】 地方創生推進拠点整備タイプ及び地方創生推進タイプ

NO.	交付金対象事業名称	事業目的・概要								
8	生涯活躍のまち・つる2.0 インキュベーションコミュニティ構築事業	多様な世代・人材が起業・仕事づくりをテーマに交流し、現役世代の生活を支え、シルバー世代の生きがいとなる仕事を作り出すとともに、担い手の確保・育成を進め、市内への定着が低調な都留文科大学の学生や現役・子育て世代をはじめとした全世帯の定着・定住を図る。								
総合戦略の位置づけ										
生涯活躍のまち・つる事業の推進										
事業開始	事業終期									
令和5年4月	令和6年3月									
実施事業名		総事業費	交付金対象経費	財務内訳		実施内容				
				交付金	一般財源等					
1	生涯活躍のまち・つる2.0 インキュベーションコミュニティ構築事業	45,122,039	45,122,039	22,561,019	22,561,020	【ソフト事業】 ちょこっとおしごとマッチングシステム構築及び運営業務委託費、起業家育成及びキャリア形成支援アドバイザー事業運営業務委託費、生涯活躍のまち・つるビジネスプランコンテスト運営業務費補助金、ニ地域居住者及びプロボノ人材確保事業、生涯活躍のまち・つる地域交流拠点運営費、カーシェアリング等によるシェアリングエコノミー構築事業に関連する層と事業の実施 【ハード事業】 カーシェアリングによるシェアリングエコノミー構築事業				
2										
3										
合計（円）		45,122,039	45,122,039	22,561,019	22,561,020					
重要事業評価指標（KPI）		単位	事業開始前	KPI	R3(増加分)	R4(増加分)	R5(増加分)			増加分累計
1	本事業を通じて起業した事業者数	件	0	目標値	0.00	1.00	1.00			2.00
				実績値	3.00	4.00	2.00			9.00
2	都留文科大学の学生の卒業後の都留市への定着率	%	1	目標値	0.00	2.00	0.70			2.70
				実績値	1.00	1.00	0.60			2.60
3	本事業の実施により増加した移住者（テレワーカー、2拠点居住含む）	人	0	目標値	5.00	5.00	5.00			15.00
				実績値	18.00	8.00	1.00			27.00
事業効果	地方創生に非常に効果的であった	本事業実施により、起業者数・移住者数ともに増加した。								
今後の方針	事業の終了（当初計画通り）	移住者を含めた外部の人材を積極的に活用し、組織運用に関与していただく。市内在住の学生に積極的に働きかけ組織運営の担い手として関与してもらう。 引き続き市内企業と都留文科大学生の接点をつくり、就業先として意識付けを行っていく。 各種イベント等の実施に当たっては積極的に民間企業などに働きかけ、協賛金の依頼を行い運営する。								
評価	生涯活躍のまち・つるのブランディングが確立されつつある。都留ビジネスプランコンテストなどを通じ都留文科大学の学生が市内の資源を活用した起業 伴走支援等が手厚く市内での起業に至っている。また、移住者と住民のコミュニティができており移住のハードルを下げるのができているなど担い手の確保、全世代の定着・定住に寄与している。									

【交付金種別】 地方創生推進タイプ

NO.		交付金対象事業名称	事業目的・概要								
9		都留市探究型学習塾・市民大学×デジタル人材育成を通じた地域課題解決人材育成事業	多世代が、産業創出や起業等を中心として地域課題の解決を図るマインドを備えた人材となるよう、既存の学びの枠にとらわれない多様な手法を活かして育成を図るとともに、こうした人材が生む経済活動や人づくりが更なるまちの魅力向上や、若い世代が継続的に居住できる生活環境や雇用の創出につながる地域の構築を目指す。								
総合戦略の位置づけ											
「教育首都つる」のさらなる発展											
事業開始		事業終期									
		令和4年4月	令和9年3月								
実施事業名			総事業費	交付金対象経費	財務内訳		実施内容				
					交付金	一般財源等					
1	探究型学習塾創設事業		10,366,500	10,366,500	5,183,250	5,183,250	探究型学習塾運営業務補助金、デジタル環境整備				
2	現役世代を対象とした市民大学創設事業		415,036	415,036	207,518	207,518	講師旅費、講師謝礼、需用費				
3	生涯学習環境の充実に伴うデジタル人材育成事業		5,500,000	5,500,000	2,750,000	2,750,000	デジタルプラットフォーム構築事業委託費				
4											
5											
合計（円）			16,281,536	16,281,536	8,140,768	8,140,768					
重要事業評価指標（KPI）			単位	事業開始前	KPI	R4(増加分)	R5(増加分)	R6(増加分)	R7(増加分)	R8(増加分)	増加分累計
1	都留文科大学卒業生の市内定着率	%	0.9	目標値	0.00	0.30	0.40	0.50	0.70	1.90	
				実績値	0.00	0.60				0.60	
2	この事業を通じて創出した雇用数	人	0	目標値	0.00	3.00	5.00	7.00	9.00	24.00	
				実績値	5.00	4.00				9.00	
3	この事業を通じて創出したデジタル人材育成数	人	0	目標値	0.00	190.00	410.00	630.00	900.00	2,130.00	
				実績値	1,320.00	1,264.00				2,584.00	
4	この事業を通じて創出した関係人口数	人	0	目標値	0.00	100.00	120.00	140.00	160.00	520.00	
				実績値	358.00	266.00				624.00	
事業効果		地方創生に非常に効果的であった	事業を通じて関わりのできた都留文科大学生が市内企業等を就職先として意識する機会を創出できた。デジタル人材育成についてはVR事業を継続して実施し、市民がデジタルを通じた地域の課題解決に目を向ける機会が増加したとともに、オンラインを通じたPRにより関係人口を創出することができた。								
今後の方針		事業を継続する	外部人材の活用により企業人のノウハウも活用しながらスキームを設計する。学生の市内定着率、事業を通じた雇用数の確保に向け探究型学習塾の活動を市内に周知していく。								
評価		都留文科大学生にも探究型学習塾の存在が認知されつつある。事業を通じて定期的に市内小学生や保護者、教育者など多世代に課題解決に取り組むマインド醸成する機会を提供している。自走化に向けての取組については今後も検討する必要がある。今後も事業の目的を達成できるように更なる発展を期待する。									